

# 日本計量新報

計測と科学  
毎週日曜発行  
日本計量新報社

東京都江東区亀戸7丁目62-16  
〒136-0071 TEL 03-5628-7070  
FAX 03-5628-7071

http://www.keiryu-keisoku.co.jp/

振替口座 00140-5-12935  
購読料年間 25,000円(消費税別)

定量計量専用機

## Pack NAVI

速くハカル、  
楽にツメル



Yamato

大和製衡株式会社 tel:078-918-6577  
http://www.yamato-scale.co.jp/

## 製品評価技術基盤機構(NITE) 産業技術総合研究所を認定 計量器の国際的な認証機関として

製品評価技術基盤機構(NITE)は2020年3月12日、計量器の国際的な基準に適合した認証機関として産業技術総合研究所計量標準総合センター(NMIJ)を認定した。国際法定計量機関(OIML)が運営する計量器の国際的な認証制度に基づいたもの。今後、国内の計量器製造事業者は、NMIJが発行する証明書を活用することで海外市場への展開が容易になり、国内の製造事業者の海外市場における競争力の強化が期待される。

### 製造事業者の海外市場における競争力強化に期待

■輸出先国の法制度がネックに  
食品売場や物流市場、製造業など各分野で広く使用されるばかりなどの計量器は、世界的な市場となっている。

しかし、各国はそれぞれ計量器に関する独自の法制度を持っており、製造事業者は輸出先国の法制度に製品を適合させることが負担となっている。



※33,000円(税抜)

■新たなOIML認証制度  
このため、国際法定計量機関(OIML)は、国内で発行した計量器の証明書を他国でも利用できるよう(国際相互承認)、新たなOIML認証制度を構築し、2019年(令和元年)9月より認定業務を開始している。

を立ち上げた。

製品認証機関は認定機関から認定を受けることにより、その能力が証明され、この制度に基づいて証明書を発行することができる。

■NITEによる製品認定  
NITEは、OIML認証制度に基づき製品認証機関として、その能力を客観的に証明することができ

の輸出実績がある。今後、OIML認証制度参加国(30か国、日本を除く)では、計量器の製造事業者は、NITEが認定した認証機関NMIJが発行する証明書を活用することで、国際相互承認により時間と労力のかかる輸出時の手続きの多くが

不要となり、日本企業による海外の市場へのさらなる進出が期待される。

3281・3282号を合併号とし、3月29日付で発行します。



国際法定計量機関(OIML: International Organization of Legal Metrology)は、政府間条約に基づき設置された機関。OIMLは、法定計量に関する一般原則の確立および諸問題の国際的解決、計量器の検定検査をおこなう国家機関および計量器の原理、構造、使用等に関する資料ならびに情報の収集等を目的とする機関であり、条約加盟国の法定計量規則を整合化することにより計量器の国際貿易の円滑化を目指している。

### 日本品質保証機構(JQA) ISO入門セミナー動画を一般公開

日本品質保証機構(JQA)は、登録組織向けに公開したセミナーの開催中止期間、ISO入門セミナー(ラ

イフ配信)のアーカイブ動画を一般公開する。新型コロナウイルス感染症拡大で、2020年3月末までに予定されているすべてのISO入門セミナーを中止したことに対応するもの。

### 今週の主な記事

- 産総研が計量器の国際的な認証機関に、JQAセミナー動画を計量計測関連企業20年3月期第4四半期決算(3)
- 寄稿(小野威・安藤正一)
- NIMS研究会座談会(7)
- メートル法の起源(7)
- 田中館愛橘とその時代(14)その13
- 日本計量史学会総会、AD上腕式血圧計、他
- 社説、島津製作所、ROHS規制開始
- 近江度量衡設立120年

セミナー内容に関する質問にも答える。テキストは、セミナー開催中止期間に限り配布しない。



### 分析天びん Analytical Balances AT-Rシリーズ

## 新型分析天びん 利便性が向上したベーシックモデル

AT-Rシリーズ8モデル:最小読取り0.1mg

### 応答性/安定性を自在に設定

応答性・安定性が自在に変えられる「スマートセッティング」  
5段階のインジケータがあり、測定中にレスポンス重視(R)スタビリティ重視(S)をカンタンに切替え可能

### USBとRS232CでPC接続可

PC、PLCとの接続に便利な2種類のインターフェイスを標準装備  
PCへひょう量値を直接転送することでヒ・マンエラーを防ぐ

### イオナイザ(除電器)併用で安定計量

イオナイザSTABLO-AP(オプション)を使用して、サンプルや容器を無風で素早く除電。  
静電気による影響を排除し手間なく信頼性の高い計量を実現



はかりとり作業は R(レスポンス重視)で  
振動が気になるときは S(スタビリティ重視)で



STABLO-AP



株式会社 島津製作所 分析計測事業部

AT-Rシリーズの特徴を、わかりやすく解説  
https://www.an.shimadzu.co.jp/balance/products/p01atr\_d.htm

